

# 牛久：学校周辺に見る自然

第66号 牛久理科サークル

2012年2月5日発行

く うしくサイエンスフェスタ2012に出展しました。

～タネを知ろう・タネで遊ぼう！ >



2/4 (土)、今年も、私たち牛久理科サークルは、「うしくサイエンスフェスタ 2012」にブース出展しました。『タネを知ろう・タネで遊ぼう！』と題して、いろいろな種子散布のしかたを写真や実物標本で紹介し、コピー用紙で飛ぶタネのもけいを作って飛ばしたり、どんぐりや松ぼっくりで工作をしたりと、盛りだくさんの内容で楽しんでいただきました。



こちらは、飛ぶタネのもけいづくり。むずかしいところは、お父さん、お母さん、そしてスタッフのお姉さんたちに手伝ってもらって作りました。紙なのに、意外とよく飛ぶことに、皆さんびっくりしていましたね。発泡スチロールを薄切りして作った、アルソミトラ種子模型のおみやげつきでした。





こちらは、木の実の工作。いろいろなどんぐりや松ぼっくり、紅葉や小枝の中から、自分の好きな材料を組み合わせ、ドリルで穴をあけたり、グルーガンやボンドでくっつけたりして、人形やコマなど、それぞれすばらしい作品を作りあげていましたね。毎年思うのですが、子どもたちの創造力にはおどろかされます。整理券がなくなってしまう、参加できなかったお友だちには申しわけなかったですが、たぶん来年も出展すると思いますので、それまで楽しみにして下さい。



愛知県豊田市産アベマキ、牛久自然観察の森より。



兵庫県宝塚市2010年産マテバシイ（左）と、メタセコイア（右）、樹木観察仲間のMさんより。



千葉市稲毛海浜公園産ウバメガシ、樹木観察仲間のNさんより。



静岡県産マテバシイ、樹木観察仲間のAさんより。

ところで今年は、昨年<sup>えいきょう</sup>の原発事故の影響で、使用する木の实にもたいへん神経使いました。

市内でもたくさん拾い集め、放射線量も問題なかったのですが、念のため 2011 年県内産のものは

使用せず、他県から送っていた

だいたいのものや、昨年使用した残りで行いました。紅葉や小枝も、一昨年までに集めておいたものを使いました。このような状況が、あと何年続くのか分かりませんが、早く市内の木の実でやれるようになって欲しい



ゴパンノアシやゴールデンシャワーなど、オキナウウラジロガシやクリガシなど、樹木観察仲間のKさんより。



樹木観察仲間のHさんより。

いものです。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。なお、材料はないけれど、展示用に外国産や動物のかじった木の実など、珍しいものを送ってくださった方々もいらっしゃいました。おかげで展示物も充実し、材料のどんぐりが不足することもなく、無事、大成功に終わることができたと思います。感謝の気持ちをこめて、ここにご報告いたします。 【理科支援員 宮内】